



# 道庁で輝く女性技術職員【獣医師(保健福祉分野)】



同期の仲間と休日は野外でリフレッシュ



と畜検査業務(生体検査)の様子

## Q1 道職員になろうとおもったきっかけを教えてください。

動物が好きで獣医師を目指し、大学時代、勉強や実習を重ねる中、「公務員獣医師は様々なことができて面白そうだな」と思ったことがはじめのきっかけです。

私は道外出身ですが、北海道は畜産が盛んで獣医師として活躍できる場が多いことや、学生生活を通して北海道での暮らしを気に入ったことから、道職員を志しました。

胆振総合振興局 早来食肉衛生検査所  
食肉検査課 専門員

こもだ さら

# 薦田 彩良

## Q2 仕事をするなかで、やりがいや喜びを感じることはありますか？

私が従事する、と畜検査業務は、安全で衛生的な食肉を供給するために必要不可欠な業務で、緊張感を持って業務に当たっています。

疾病判断や衛生指導等、日々獣医師の知識を活かせる機会が多くあり、学べることもたくさんあるのでやりがいがあります。

また、消費者として焼肉屋さんなどで自分達が検査したお肉を食べられると嬉しいですね。

## Q4 道庁で働く同業種の仲間へメッセージをお願いします！

保健福祉部には全道各地の保健所・食肉衛生検査所等で働く獣医師の仲間が多くいます。

HACCPの制度化等で求められる業務が複雑化していますが、お互い助け合って乗り越えていきましょう。

今後ともよろしくお願いします。

## Q3 余暇の過ごし方、プライベートなどについて教えてください。

私の職場では、職員同士支え合おうという空気があり、安心して休暇を取得できています。道内には四季折々、多くの見所があるので、年休等を利用して、好きな音楽をかけながらドライブを楽しんでいます。前任地周辺の観光地は大体行けたかな…？

また産休育休を活用して頑張っている同期もおり、女性獣医師にとって仕事を続けやすい環境だと思えます。

## Q5 道庁へ就職を検討されている方へメッセージをお願いします！

新卒の方、道外から来た方、動物病院で働いていた方…様々な境遇の方が働いています。

また、道庁には公私ともにサポートを受けながら獣医師として活躍できる環境があります。

興味を持たれた方、ぜひ一緒に働きましょう！



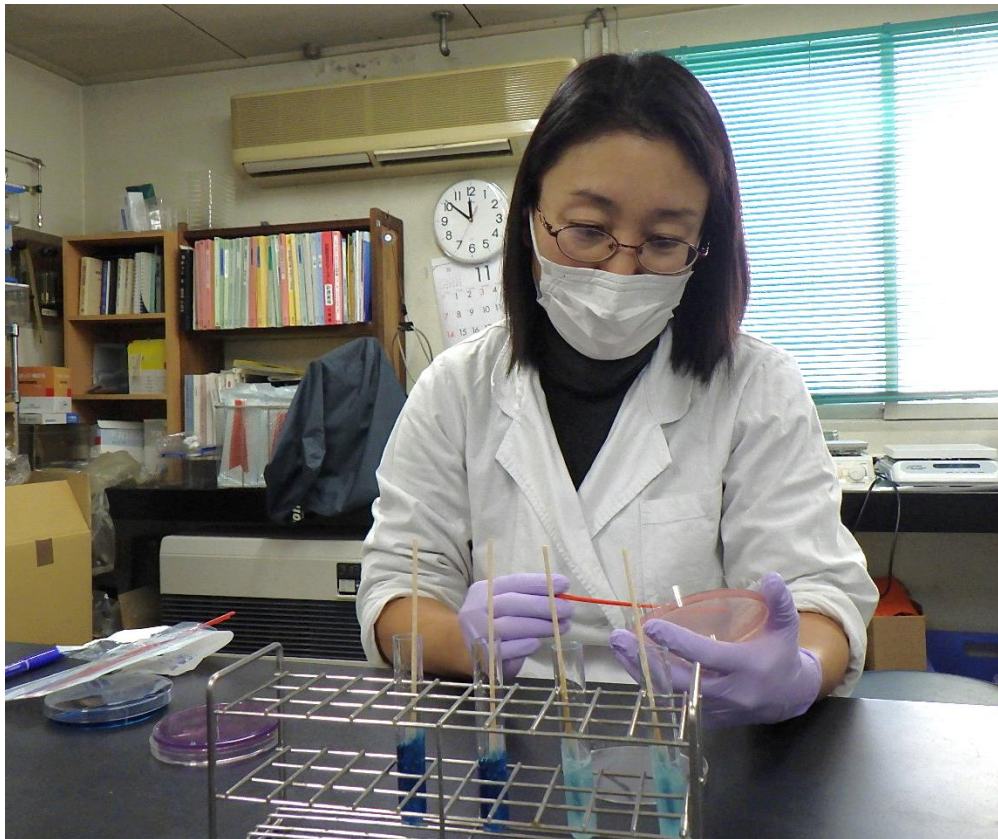
# 道庁で輝く女性技術職員【獣医師(農業分野)】



限りなく広がる大地と牛たち



農家の皆さんとのコミュニケーションを大切に。日々巡回しています。



## Q1 道職員になろうとおもったきっかけを教えてください。

学生時代、馬術部にのめり込みすぎ、引退後の目標が見つからず、どんな獣医師になりたいか？というイメージが持てずにいました。

馬産地北海道への憧れと、恩師に公務員獣医師を勧められ、たまたま参加した道の就職説明会で明るい職場の印象を受けたこともあり、採用試験を受けました。

恥ずかしながら、“大きな志”は抱いていませんでした。

釧路家畜保健衛生所 指導課長

なりた まさこ

# 成田 雅子

## Q2 仕事をするなかで、やりがいや喜びを感じることはありますか？

農場や関係機関の方々と協力し合って病気の対策を終わらせたときや、農家の方がこちらのアドバイスを取り入れて素晴らしいアイデアを思いつき実践してくれたときなど、立場の壁を越えてお互いの想いや考えに共鳴できたとき、大きな喜びを感じます。

それはパスを繋ぎ絶妙なアシストからシュートが決まったような感覚です。

## Q4 道庁で働く同業種の仲間へメッセージをお願いします！

人生の岐路に立った時、自分自身に獣医師を続ける理由を問いかけ、最後は家族の支えがあって、結果「続ける」という選択肢を選んできました。そして選ばなかった道は最初からなかったと私は思っています。

その道を選んだ自分を一緒に信じませんか？

## Q3 余暇の過ごし方、プライベートなどについて教えてください。

子育てに対して上司や同僚の理解があり、子供が病気の時に快くフォローしてくれました。そしてこの恩は自分が次の子育てで世代をフォローして繋ぎたいと思っています。

仕事と家庭の両立に追われ自分の時間はほとんどありませんが、一緒にご飯を作ったりテレビを見たり、ただ家族と一緒に笑っていられる時間が自分を強くしてくれます。

## Q5 道庁へ就職を検討されている方へメッセージをお願いします！

知識と経験を駆使しあらゆる想定をしながら有事に備え、また問題解決を図る、それが家畜保健衛生所の仕事です。

朝搾乳が終わった牛達が草地上に座って反芻し、夕方道を渡って搾乳に戻ってくる景色を一緒に守りませんか？



# 道庁で輝く女性技術職員【普及指導員(農業)】



女性農業者に6次産業化の情報提供



農業者との視察研修

## Q1 道職員になろうとおもったきっかけを教えてください。

教育大学出身で農業に関して無知な私でしたが、大学の先輩から聞いた「普及員」の仕事に興味を持ち、入庁しました。初任地は人より牛が多い道東の興部町で、先輩や農業者が話す農業専門用語が全くわからなかったため、1年目は辞めることばかり考えていました。しかし、先輩と一緒に、目の前にいる農業者の将来のために、今何をすべきかを一生懸命考えて行動しているうちに、気がつくやうに今に至っていました。

後志農業改良普及センター 主査(高付加価値化)

あやべ きょうこ

# 綾部 京子

## Q2 仕事をするなかで、やりがいや喜びを感じることはありますか？

ある地域の活性化に取り組む所内検討チームに配属された時のこと、私は女性農業者の皆さんと共に試行錯誤しながら活動を進め、私の転勤後は後任者がその活動を継続・発展させた結果、全国で表彰されました。私はその活動のきっかけを作ったに過ぎませんが、担当職員が変わっても「地域や農業者のために」という思いが繋がる仕事であることに、やりがいを感じています。

## Q4 道庁で働く同業種の仲間へメッセージをお願いします！

新人の頃、自身の配慮が足りず農業者に叱られたことがありました。その時、上司から「何もしない人には、何も起こらない。あなたはその農業者のために、よかれと思ってやったんでしょ？やり方が間違っていたのは、反省して謝るしかない。でも、やろうとする姿勢は大事だ。」と励まされました。私は、そういう声をかけられる人になりたいと思っています。

## Q3 余暇の過ごし方、プライベートなどについて教えてください。

普及指導員は各自やチームで、農業・農村の発展のためにやるべき仕事を現場から見つけ出し、計画を立て活動します。チームで仕事を組み立てるため、チーム内の理解・協力のもと、WLBを実現させやすい環境です。私の場合、年度初めにスケジュール帳に夫(教員)と子どもが通う学校の年間行事予定を転記し、仕事の予定を細かく書き込んで進行管理していました。

## Q5 道庁へ就職を検討されている方へメッセージをお願いします！

私の子どもは、片手の手のひらにのるくらい小さく小さく産まれてきました。しかし、女性農業者からいただいた肉厚のピーマンを生のままバリバリと食べるような生活をしているうちに身も心も成長し、今ではコロナに負けずに自身の行動力で語学留学するまでになりました。農業は、命を守る産業です。農業・農村の発展のために私たちと一緒に働きませんか？



# 道庁で輝く女性技術職員【林業技術職員】



北海道の広大な森林。どこまでも美しい景色が続きます。



植樹祭にて、木を植えて二酸化炭素を吸収



## Q1 道職員になろうとおもったきっかけを教えてください。

本州の盆地で生まれ育ち、北海道の広々とした風景や涼しい気候にあこがれて、道内の大学に進学しました。

休日に山登りやスキーなど自然に触れながら過ごす中で、北海道に永住して森林や木材に関する仕事をしたいという気持ちが強くなり、地域に密着して発展に貢献出来る道職員として働きたいと思うようになりました。

水産林務部林務局森林計画課 課長補佐

さの やえこ

# 佐野 弥栄子

## Q2 仕事をするなかで、やりがいや喜びを感じることはありますか？

世界各地で発生している大規模な自然災害の原因はCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量増加による地球温暖化であるとされています。

私の部署では、広大な森林によるCO<sub>2</sub>吸収と木材利用による炭素固定などの森林吸収源対策に取り組んでいます。

北海道の大自然を象徴する森林を通じて、世界的な課題の解決に携わることができ、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

## Q4 道庁で働く同業種の仲間へメッセージをお願いします！

社会の常識が急速に変化し働き方も多様化する中で、若手職員が個性を発揮しながら活躍するためには、私たち世代の意識改革が不可欠です。

変化を恐れずに新しいアイデアを尊重し、より良い職場環境づくりを進めていきましょう。

## Q3 余暇の過ごし方、プライベートなどについて教えてください。

道庁には、職員の様々な事情に合わせて柔軟な働き方が出来る仕組みが整っており、ライフステージに合わせたキャリアデザインが可能です。

また、プライベートも充実しており、勤務終了後や休日には、職場の仲間と地域のお祭りに参加したり、特産品を楽しんだりしています。

## Q5 道庁へ就職を検討されている方へメッセージをお願いします！

地域の発展や道民の方々のために道庁は常に新しい課題に取り組んでいます。

皆さんは北海道の未来を拓く力です。北海道の豊かな森林資源を将来に引き継ぐため、一緒に働きませんか。



# 道庁で輝く女性技術職員【水産技術職員】



浜のかあさん達と江差鍋まつりにて



若手漁師さん達と高校生向けに出前講座を開催

**Q1** 道職員になろうとおもったきっかけを教えてください。

北海道出身ですが、一度は道外に住みたいと考え、本州の水産試験場で調査・研究の補助をしており、そこで働く人たちの姿をみて、漁業者と直接対話ができる水産行政の仕事に興味を持ちました。

地元を離れたからこそ北海道の自然や食べ物が好きなことに気付き、道職員採用試験を受けました。

水産林務部 水産局水産経営課 主査(新規就業)

くどう しゅうこ

## 工藤 周子

**Q2** 仕事をするなかで、やりがいや喜びを感じることはありますか？

以前一緒に仕事をした漁師さんが、今でも近況報告をしてくれることが何より嬉しいですし、浜の方々、自分たちが作った製品を売ったりSNSで発信している様子などを見ると刺激を受け、まだまだ自分も頑張らないとな～と感じます。

**Q4** 道庁で働く同業種の仲間へメッセージをお願いします！

失敗して落ち込んだり、もうダメだと思うことは今まで何度もありましたが、その度に相談に乗り励ましてくれる仲間のおかげで乗り越えてきました。

お互いを大切に、みんなで知恵を集めて困難を乗り越えて行きたいです。

**Q3** 余暇の過ごし方、プライベートなどについて教えてください。

計画的に休みを取得することで、離れて暮らす家族と過ごす時間を確保しています。

ノー残業デーは、スポーツや食事を楽しむ時間もありますし、土日は温泉巡り(サウナ必須！)をして体調を整えたりもしています。

**Q5** 道庁へ就職を検討されている方へメッセージをお願いします！

漠然とでも「誰かの役に立ちたい」と思う方にはぴったりの仕事だと思います。

道職員は、道民の方と接する機会が多くありますが、些細なことでも「ありがとう」と言われると嬉しいものですし、自分の行動によってそのような場面をつくることのできる仕事です。



# 道庁で輝く女性技術職員【土木技術職員】



監督員として訪れる現場の様子



プライベートではきれいな風景に癒やされる



## Q1 道職員になろうとおもったきっかけを教えてください。

私自身は道外出身ですが、小学生の時に北海道を訪れた際、「この地に住みたい」と思ったことがきっかけで、大学進学とともに北海道へ移住し、「就職も道内で」と決めていました。道職員の特性上、全道各地への転勤があるため、働きながら様々な地域での生活を経験できることや、地元に近い働き方ができ、北海道に貢献する仕事だと感じたことが決め手です。

建設部 建設政策局建設管理課 主任

ゆたに ともみ

# 湯谷 知美

## Q2 仕事をするなかで、やりがいや喜びを感じることはありますか？

土木系職員であるため、監督員として実際に工事の施工現場に行くことも多いです。私は実際の現場に足を運び、見聞きたいタイプなので、監督員の仕事にやりがいを感じます。自分の担当現場だけでなく、他の職員が担当している現場に研修としていくこともあります。

## Q4 道庁で働く同業種の仲間へメッセージをお願いします！

土木職は人手不足であることを耳にしますが、近年採用人数が増えて、若手職員も多くなり、活気が出てきたことを実感します。今後も、大勢の若手職員が入庁してくれることを期待して、頑張っていきたいと思います。

## Q3 余暇の過ごし方、プライベートなどについて教えてください。

計画的に仕事を進めて年休を取得し、自分で連休を作っています。休日は道内各地を訪れて、その土地の名物を食べたり、綺麗な風景を見たり写真を撮ったりして過ごすのが楽しみです。お盆や年末年始の連休も、前後に年休を取得することで、より長期的な休暇にすることも可能です。私は実家が道外のため、帰省する際は長めに休暇を取っています。

## Q5 道庁へ就職を検討されている方へメッセージをお願いします！

北海道出身の方にとっては地元で貢献できる仕事であり、道外出身であっても、「北海道に興味がある」、「北海道に住んでみたい」と考えている方には最適な仕事だと思います。仕事は「こうしたい」という自分の気持ちに正直になって選んだ方が楽しいし、長く続けられると思いますので、興味のある方は、ぜひ道への入庁を検討していただけると嬉しいです。